

平成30年度実績
第3次行政改革大綱実施計画
(平成29年度～令和2年度)
報告書

令和元年11月
杵築市行政改革推進委員会

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 第3次行政改革大綱実施計画の調査審議について・・・	2
(1) 行政改革推進委員会と第3次行政改革 大綱実施計画の進捗調査の位置付け	
(2) 審議対象の取組み項目	
(3) 評価基準	
2. 第3次行政改革大綱実施計画進捗審議の結果・・・・・・・・	3

はじめに内閣府の令和元年9月の月例経済報告では、「景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」とされています。

こうした中、政府は、「デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針 2019～『令和』新時代：『Society 5.0』への挑戦」等に基づき、潜在成長率の引き上げによる成長力の強化に取り組むとともに、成長と分配の好循環の拡大を目指す。さらに、誰もが活躍でき、安心して暮らせる社会づくりのため、全世代型社会保障を実現する。」としています。

杵築市の平成30年度決算の財政指標を見ると、実質単年度収支は、7億7,400万円の赤字となっており、前年度よりさらに悪化しています。また、経常収支比率は、ついに100%を超えて100.9%となり、必要な財源を収入でまかなえない状況となっています。もはや、従来と同様のやり方での行政サービスの提供は、不可能であると言わざるをえません。今後の財政状況を全職員のみならず議会や市民に周知することで、危機感を共有し、10月に新たに設置された杵築市行財政改革プロジェクトチームとワーキンググループによる緊急的・抜本的・具体的な行財政改革の取組を確実に推進しなければなりません。取組にあたっては、数年以内に赤字脱却を図るための期間と目標を明確に示した、ロードマップを今年度中に作成し、同じく全職員・議会・市民に示す必要があります。

さて、杵築市行政改革推進委員会は、杵築市の行政改革の指針となる「行政改革大綱」の実施計画である「第3次行政改革大綱実施計画」の進捗状況について報告を受け、内容の審議を行いました。

ここに、委員会の意見を付して市長に報告します。

杵築市におかれましては、この結果を尊重し、聖域を設けず踏み込んだ行財政改革の取組を要望します。

令和元年11月

杵築市行政改革推進委員会	委員長	阿部博光
	副委員長	西紀子
	委員	詫摩賢治
	委員	手嶋徳幸
	委員	松縄京子

1. 第3次行政改革大綱実施計画の調査審議について

(1) 行政改革推進委員会と第3次行政改革大綱実施計画の進捗調査の位置付け

当委員会の役割は、行政改革の推進について、必要な事項を調査審議するものである。

「第3次行政改革大綱実施計画」は、杵築市の行政改革の指針となる「第3次行政改革大綱」の実実施計画であり、この取組み項目の進捗状況等について、PDCA サイクルにおける評価（Check）作業として調査審議をする。また、実施計画は社会情勢の変化に柔軟に対応するため、毎年度見直しを行う。

まず、取組み項目ごとに、担当課から提出された個別表を基に実施計画の修正や進捗状況等を記載し、当該年度版を作成する。その後当委員会で審議し、実施計画の修正・改善をして報告書にまとめ、市長に報告する。

(2) 審議対象の取組み項目

審議の対象とする取組み項目等は、次に掲げる45項目とした。

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 協働のまちづくりと市民サービスの向上 | 10項目 |
| 2. 効率的・効果的な行政運営 | 23項目 |
| 3. 健全な財政運営 | 12項目 |

（上記45項目のうち、「外郭団体の見直し」、「未収金の対策」については、団体、債権ごとに項目を分けて審議したため、評価を行った取組数としては計72項目である。）

(3) 評価基準

担当課が年度別計画に対しての進捗状況をA～D、評価なしの5つの評価を行い、当委員会でその評価が妥当か審議する。

◇A：予定通り実施（プランどおり又はそれ以上実施）

◇B：一部実施（プランより遅れて実施、目標未達成）

◇C：未実施（未着手、全く進まなかった）

◇D：中止（計画が中止となった）

◇評価なし

2. 第3次行政改革大綱実施計画進捗審議の結果

◆市民参画機会の拡充

市民活動に対する支援機能の充実〔取組番号4〕は、市民提案型まちづくり事業を数値目標としているため、対象事業について交付要綱、申請概要等で確認した。目標10団体に対して、5団体（5事業）の実施があり、進捗度50%、評価としてはBが妥当である。

◆組織・機構の見直し

水道事業の統合〔取組番号13〕については、固定資産調査及び台帳作成が未着手となっており、その原因は作成のための職員増員ができず、改善策として令和元年度早急に業者発注することである。目標に掲げている他事業は100%実施していることから、全体としての進捗度50%、評価Bは妥当である。

図書館運営方法の見直し〔取組番号14〕については、平成30年度以降の具体的な活動プランに「運営方法の見直し」「民間活力導入の検討」などが毎年掲げられているが、項目が多く方針が定まっていないように見える。新図書館建設検討委員会で、新図書館は直営で行うこととしているため、早い段階で方針を定めるべきである。また、館長不在の影響で取組状況が左右されないような体制整備を図るべきである。また、読み聞かせ等ボランティアの活用についても推進すること。進捗度50%、評価Bについては妥当である。

包括支援センター組織の見直し〔取組番号18〕について、先進的な取組であるが、新センター開設に当たっては事業費削減に努めること。

外郭団体の見直し〔取組番号19-1〕について、ふるさと産業館の売上が減少しており、改善策として掲げている売り場等の見直しは是非するべきである。城下町の中心にあり、立地はよいが、売り場で魅力が活かされていない。

ケーブルテレビ事業の管理運営方法の見直し〔取組番号20〕については、指定管理に移行後も高い加入率の維持を図ること。

市立病院の在り方についての検討〔取組番号21〕は、具体的な活動プランに掲げられた市立病院の在り方の検討については凍結されるべきであり、市立病院の経営改善の支援については、市立病院が独自で改善すべきである。また、進捗状況については、上記2項目それぞれの進捗について記載すべきである。

◆定員管理・給与等の適正化

定員適正化の推進〔取組番号24〕については、改善策として次年度の採用者数の減員とあるが、将来を見据えた採用をすること。採用数を減らすことで耐力がなくなっている意味がない。

◆職員の資質向上

職員提案制度の推進〔取組番号30〕については、提案数が少ないため増やす働き

かけが必要である。

◆財政基盤の確立

健全な財政運営〔取組番号34〕については、予算規模、経常収支比率で目標未達成であり、早急な改善が必要である。歳入あつての予算であるという意識が低いのではないか。

◆歳入の確保

未収金の対策〔取組番号42〕については、未収金対策検討ワーキンググループで全庁的な取組を行っているとのことであるが、徴収強化を図り、滞納者に対しては十分な実態把握をした上で、法的な措置をとるべきである。〔取組番号42-15、16、17〕については、進捗度50%で評価Bとしているが、未収金の回収はできていないためBではなく、進捗度0%、評価はCである。また、〔取組番号42-21〕についても未収金の回収はできていないため評価はBではなく、Cとする。

取組の進捗状況を把握し、審議する上で、来年度に向け二点指摘しておきたい。

一つ目は、健全な財政運営〔取組番号34〕の進捗状況である。進捗評価は、30%としたが、経常収支比率の目標が94.6%以内となっているのに対して、平成30年度の経常収支比率の実績値は100.9%と昨年度より悪化している。今後も非常に厳しい財政運営を強いられることから、緊急的・抜本的・具体的な財政対策を策定することが急務である。

二つ目は、45取組項目の深化、拡充である。第3次行革大綱実施計画の計画期間は令和2年度までであるが、10月に新たに設置された杵築市行財政改革プロジェクトチームとワーキンググループで議論し策定された対策のうち本計画に反映すべき部分は反映し、各項目の目的や内容、具体的な活動プラン（数値目標）を見直すべきである。

併せて、評価結果については、各担当部署が自覚を持って認識し、次年度以降の取組にしっかり反映するよう要請したい。

今後の財政状況は、法人税の大幅な減額が見込まれるうえ、交付税・臨時財政対策債が減少し、歳出では、人件費や物件費、扶助費や公債費等の経常経費の増加が見込まれるため、基金は減少の一途をたどると予想されている。

自主財源の確保や事業の廃止、事務の効率化に努め、より一層の行財政改革を行い、財政構造を変えていく必要がある。

職員一人ひとりの意識改革を行い、この厳しい財政状況を乗り切っていくことを期待する。

第3次行政改革大綱実施計画進捗審議の結果

〔評価内容の検証結果〕

取り組み項目 (重点改革項目)		評 価 基 準					項目 合計
		A	B	C	D	評価なし	
1. 協働のまちづくりと市民サービスの向上	変更前	6	3	0	0	1	10
	変更後	6	3	0	0	1	10
2. 効率的・効果的な行政運営	変更前	16	7	0	0	1	24
	変更後	16	7	0	0	1	24
3. 健全な財政運営	変更前	17	21	0	0	0	38
	変更後	17	17	4	0	0	38
合 計	変更前	39	31	0	0	2	72
	変更後	39	27	4	0	2	72